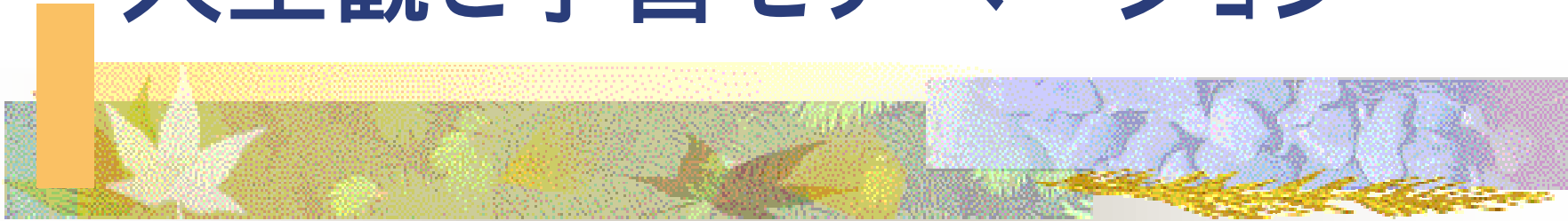


いまどき学生の 人生観と学習モチベーション



2006.06.25

飯箸泰宏

明治大学・法政大・慶応大講師

株式会社サイエンスハウス代表取締役

1.自己紹介

- **飯箸泰宏 59歳** -システム職人の棟梁- 1946年千葉県生まれ。
- 水戸藩江戸屋敷剣術指南、飯箸柳剛流(「柳武館」には千葉周作が17年間逗留)の末裔。命がけは血筋かも。
- 都立足立高校卒。ビートたけしと同級生
- 東京大学理学部化学科卒業
- 10年の化学系専門出版社編集部員
- その後、東京大学理学部情報科学研究生を経て、1981年、株式会社サイエンスハウスを設立。代表取締役となり、現在に至る。
- 同年から、1985年くらいまで駿台電算機専門学校などコンピュータ系専門学校で講師を兼務。
- 1983年より、中小企業大学校(通産省関連)で、通産技官らに対する技術情報教育、経営情報教育の講師として延べ14年。
- 1997年より、A大学、B大学、C大学、D大学、E大学等で重複しながら情報系兼任講師を務める。「システム工学」から「情報社会学」までを守備範囲とする。
- 現在は、社長業を若手に教育しながら、A大学、C大学、E大学で、「情報基礎論」「問題発見ゼミ」「情報システム論」「情報デザイン論」「システム工学」「情報処理論」を教える。8コマ/週。
- 最近、心理学専攻の妻と一緒に、心理学や大脳生理学を趣味にしている。

2. 学生は変わったか

- モラトリアム→アパシー→不登校→ニート予備軍
- 学生の変化の主たる原因は教育にあり、教員養成に当たってきた大学にも責任の一端はある。
- 後始末も、大学教育の仕事かも・・・。

琵琶、鐘の声ブログ、“学生は変わったか--心理、教育、社会性の発達(1)”、
http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2005/07/post_e5f7.html (2006.06.22確認)
ちなみに、このブログのシリーズのまとめpdfは次のようにヤフーで検索すると2千5百万件中の1位に検索されます。

<http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%BF%83%E7%90%86+%E6%95%99%E8%82%B2+%E7%A4%BE%E4%BC%9A&ei=UTF-8&fr=top&fl=0&x=wrt&meta=vc%3D>

3.1997年-2006年 学生と私の能力

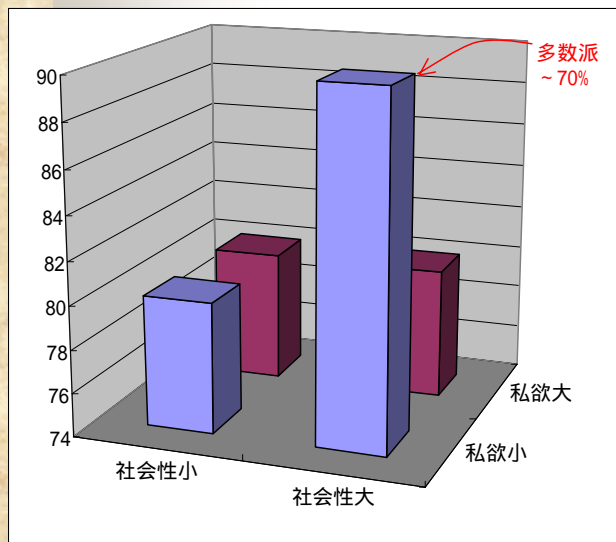
- 成績向上は、学生と教師の能力の掛け算で決まる
- 学生らは「輪切り入学」してくるので、出発点では、学力に大差はない。乱暴に言えば60点を超えた成績部分が学生と教師の能力の掛け算によるもので、教師としての私の能力評価の対象でもある。
- 成果の中央値が90点程度のグループと80点程度の2つになる。成果の中央値80点程度のグループでは、裾野には落第が出てくる。
- 学生は2グループに分けられるのかといえば、それは違う、と感じてきた。ここでは「社会的評価を求める」人生観と「金持ち指向」の人生観をクロスに取り上げて、学生の性向を4分類してみた。
- これには裏づけはなかったが、実感に基づいている。

	社会性 大	社会性 小
私欲抑制	教育的に望ましい性向	
私欲優先		犯罪的性向

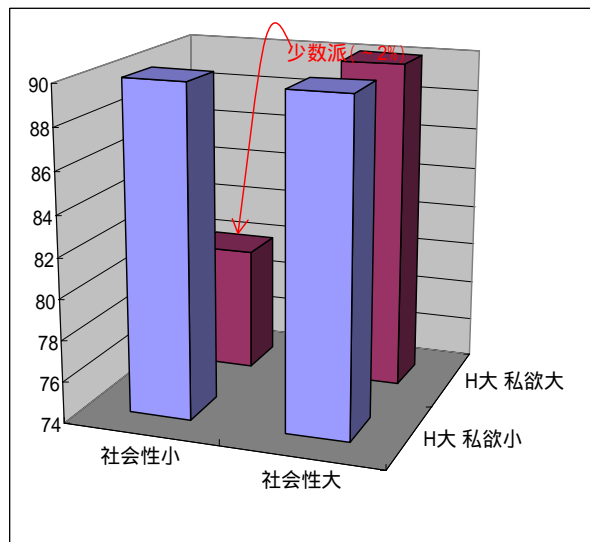
3.(1) 1997年-2001年 美しき誤解か蜜月期か

- 参加型教育実践に多数は協力的。成果もよいように感じていた。
- 東京都教育委員会預かりの「要再教育教員」は、精神に障害を持つものを含めて、社会性に著しく欠如しており、私利私欲にのみ固執するものがほとんど。「要再教育教員」に私利私欲型社会人学生を加えるとD大の担当講座では社会性に著しく欠如する学生が過半数を超えた教室も多かった。過半数を超えた悪貨は良貨を駆逐してしまう原理である。

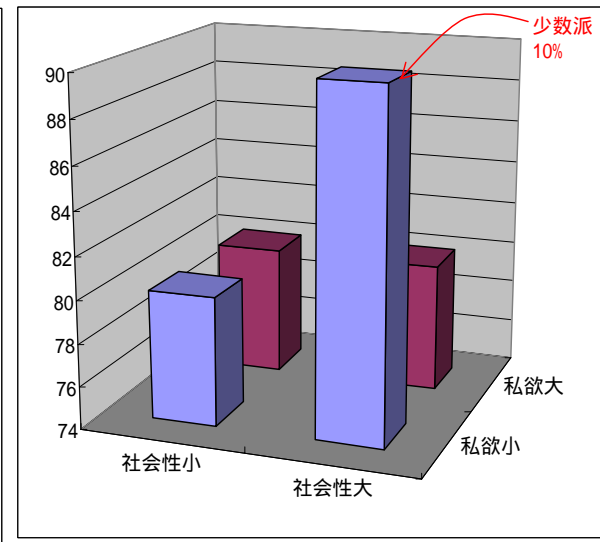
琵琶、鐘の声ブログ、“志の低い集団は物も言わずに生き残る--感性的研究生生活(10)”、
http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2006/02/10_25e1.html (2006.06.22確認)



A大(文系混成)・B大(文系混成)



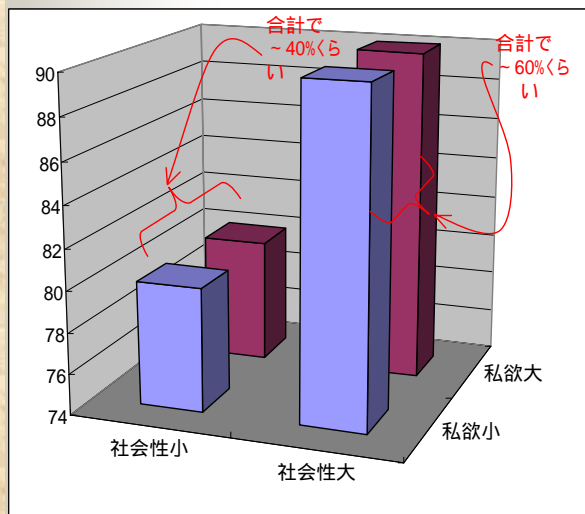
C大(経営工学)



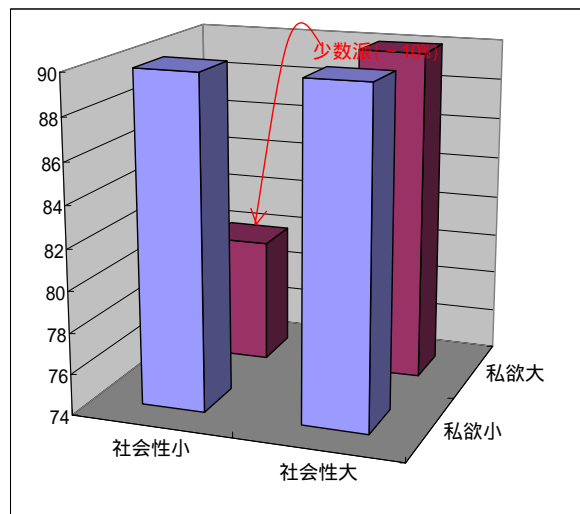
D大(デザイン情報、再教育教員)

3.(2) 2002年-2004年 笛吹けど踊らず、スランプ期

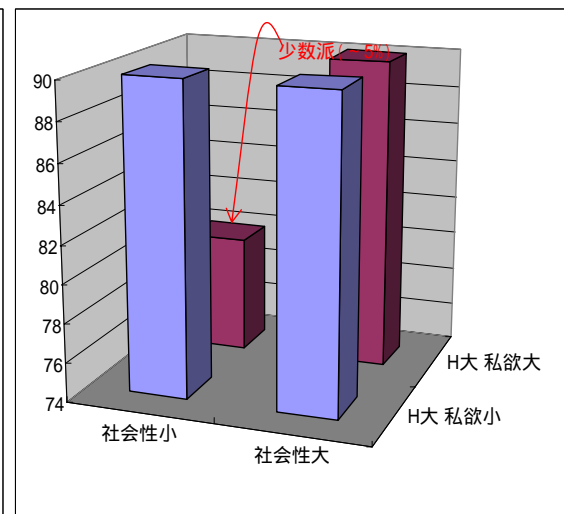
- 参加型教育実践に反応しない学生が増えた。笛吹けど踊らずの学生がいる。
- 社会性未発達の学生が増加し続けた。
- 学生参加型教育を徹底した結果T大は成果が見えた。A大は、不成功。B大は成功。C大は成功が継続。一方、「犯罪性向」の学生がじわじわと増加していると感じた。



A大(文系混成)



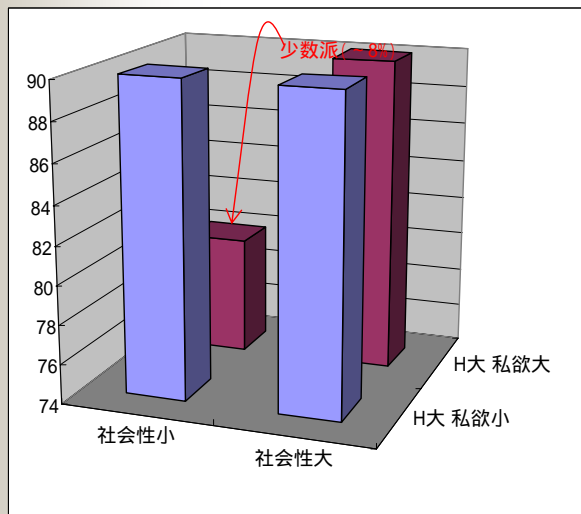
B大(文系混成)



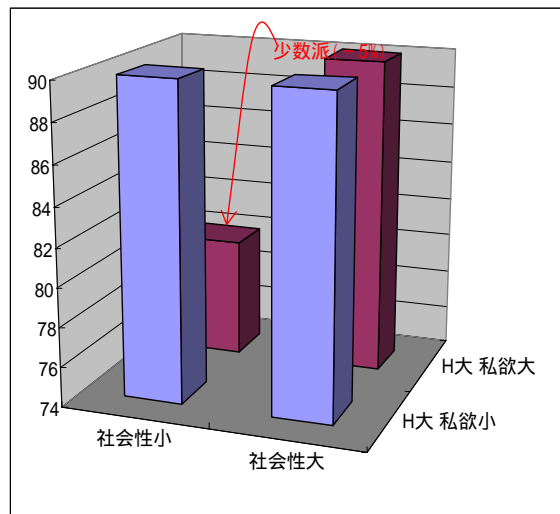
C大(経営工学)

3.(3) 2005年-2006年 「社会の成り立ち」の講義の成功

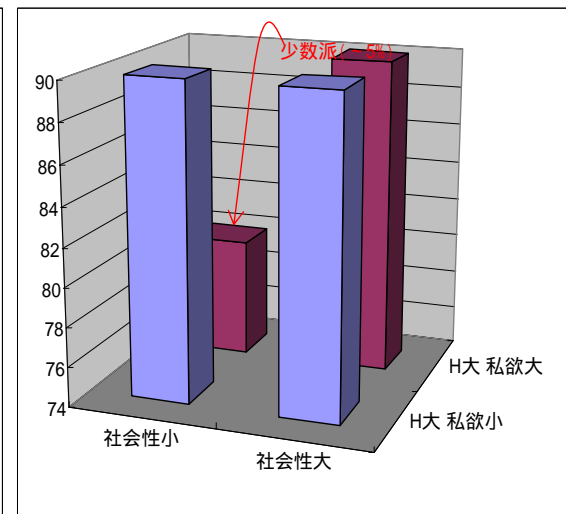
- 各講座のの1コマを裂いて「社会の成り立ち」に関する講義を実施した。
- 涙して聞き入る学生もいた。「これから一人で生きてゆかなくていいんだ・・・」、学生たちは初めて聞く話に聞き入った。(p.8-p.9のスライド参照)
- 教師の手の内(なぜ、学生参加型授業なのか)を明かしたことが効を奏した。←説明責任を果たした琵琶、鐘の声ブログ、“モチベーションを育てる、涙ぐむ--心理、教育、社会性の発達(17)”、
http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2006/02/17_94f6.html (2006.06.22確認)



A大(文系混成)



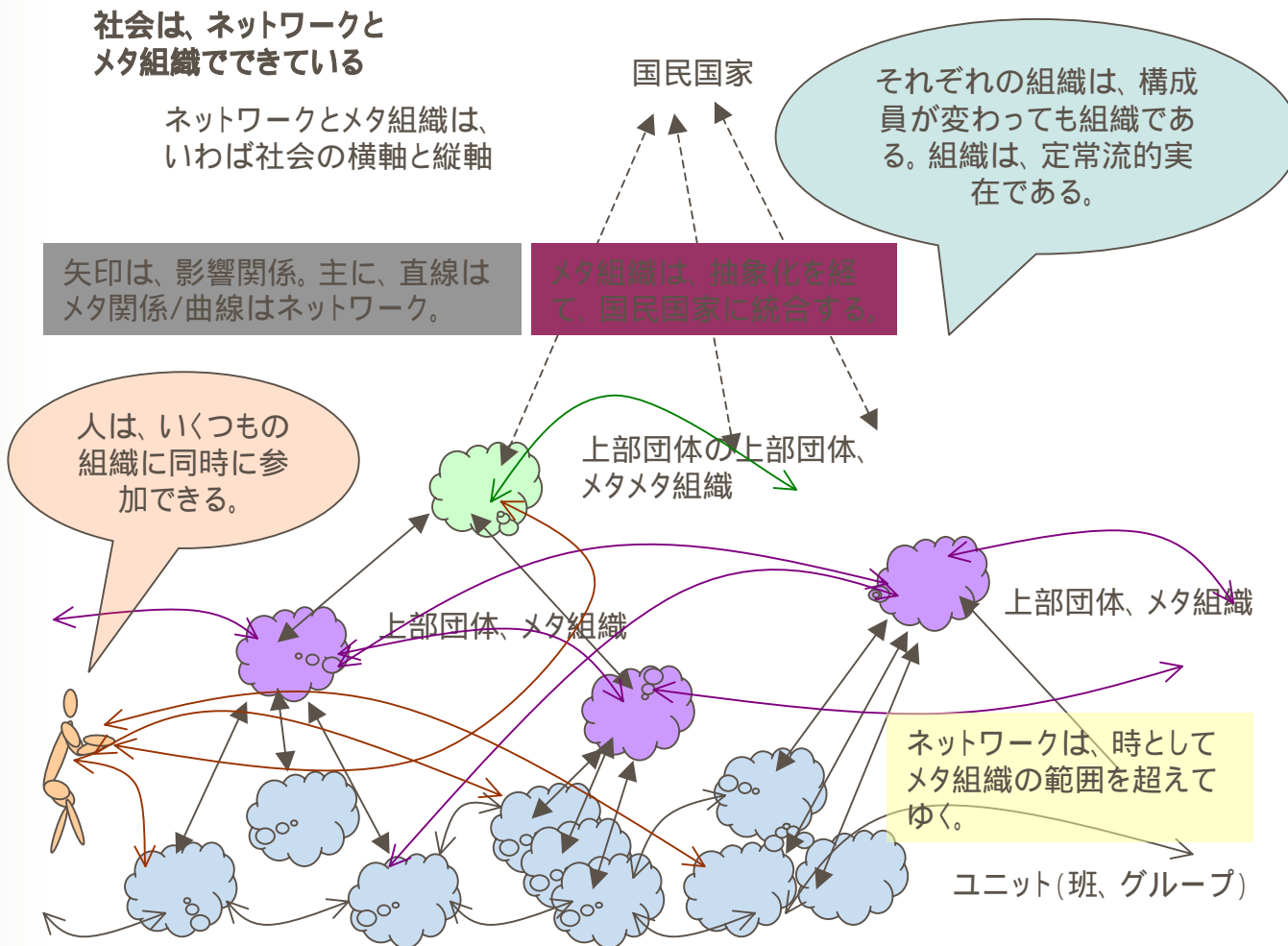
C大(経営工学)



E大(商学部)

3.(補1)「社会の成り立ち」の講義の要点-1

-8-



3.(補2)「社会の成り立ち」の講義の要点-2

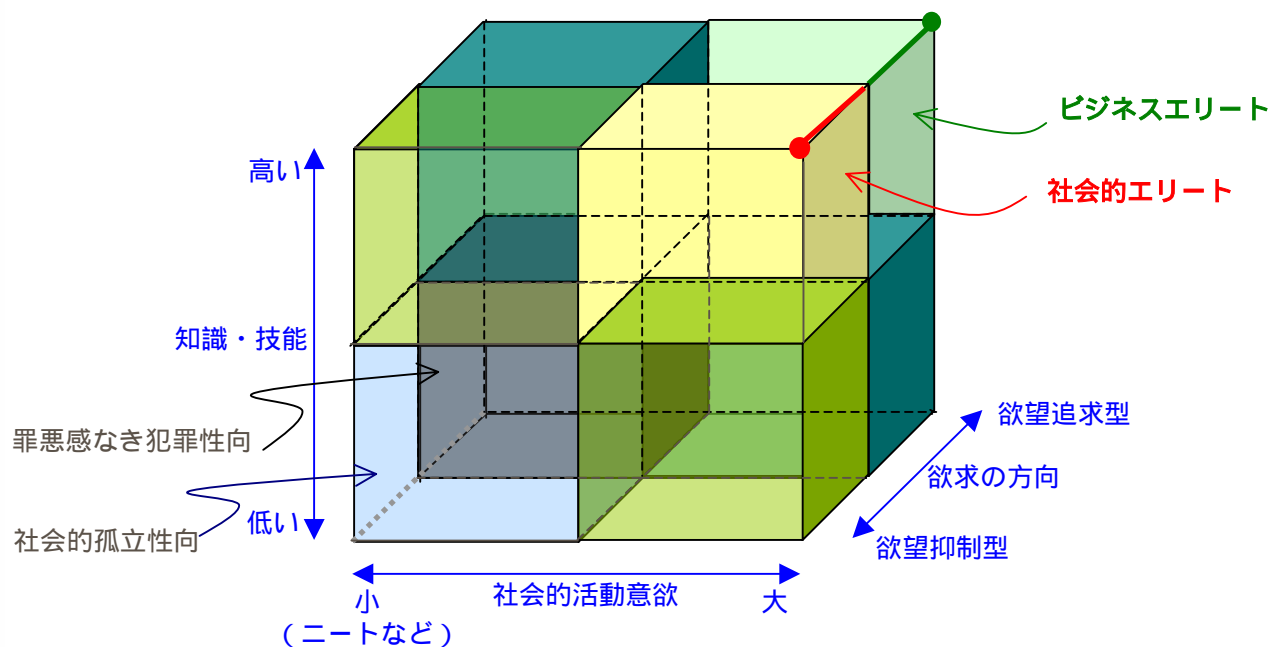
-9-

- 学生は「社会に出てゆく」のではない。「社会に入ってゆく」のである。
 - 人は、必ず、組織に属している。(所属している仕方は前頁参照)
人は組織に貢献して、組織によって安全と生活を保障されている。
 - ゲゼルシャフト、ゲマインシャフトにかかわりなく、組織には目的がある。
 - 家族や地域社会にも、生命の維持(健康)と家族の繁栄と生活の防衛という目的がある。
-
- 2-1.人は、組織なくして生存なし
 - 1)人は、おおむね社会を離れては生存しない。ロビンソンクルーソーの思考実験をみよ。
 - 2)社会は、無数の社会的組織の複合体によって成立している。家族、地域団体、行政、国家、学校、企業、NPO、・・・。
 - 3)人は、組織に貢献することによって組織から安全と生存に必要な対価を得ている。人は、組織に属することなくして、おおむね人は働くことも生きてゆくこともできない。
 - 4)組織は、社会に貢献することによって、社会に存在を許されて、保護される。社会に貢献することのない組織は、保護されず、競争に敗れて消滅する。
-

琵琶、鐘の声ブログ、“モチベーションを育てる、涙ぐむ--心理、教育、社会性の発達(17)”、
http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2006/02/17_94f6.html (2006.06.22確認)

4.次に向かって、仮説の検証

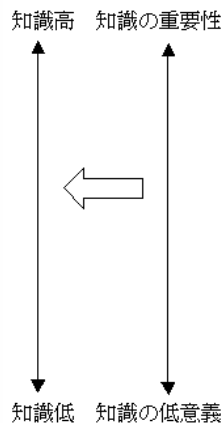
- 実感に基づいて学生を4分類したが、このままではこれはあくまでも仮説に過ぎない。
- 仮説を整理して、検証しておかねばならないだろう。
- エイトキュービックモデル(下図)



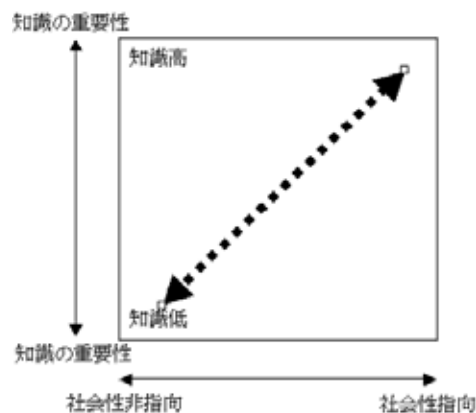
4.(1) 先行モデル各種

- 先行するモデルは多くない。
- 1)教育現場の多くは、「知識の重要性理解→高知識」の自己撞着的モデルでしかない。
- 2)「社会的学習」を支持する人たちは、「社会の重要性理解→高知識」の2次元モデルを指摘している。
- 3)最近、「功利性」軸(私利私欲軸)を導入する考えが提案されている(東京大大学院教育学研究科教授市川伸一氏)
市川伸一、“生徒の発達段階に応じた動機づけの手法を考える”、情報教育サイト、ベネッセ、
http://benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2004/04/01toku_05.html(2006.06.23確認)

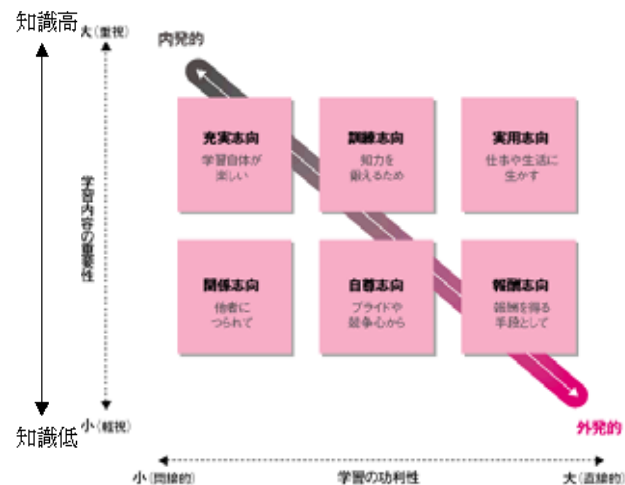
1) 「知識の重要性理解→高知識」の自己撞着的モデル



2) 「社会の重要性理解→高知識」の2次元モデル



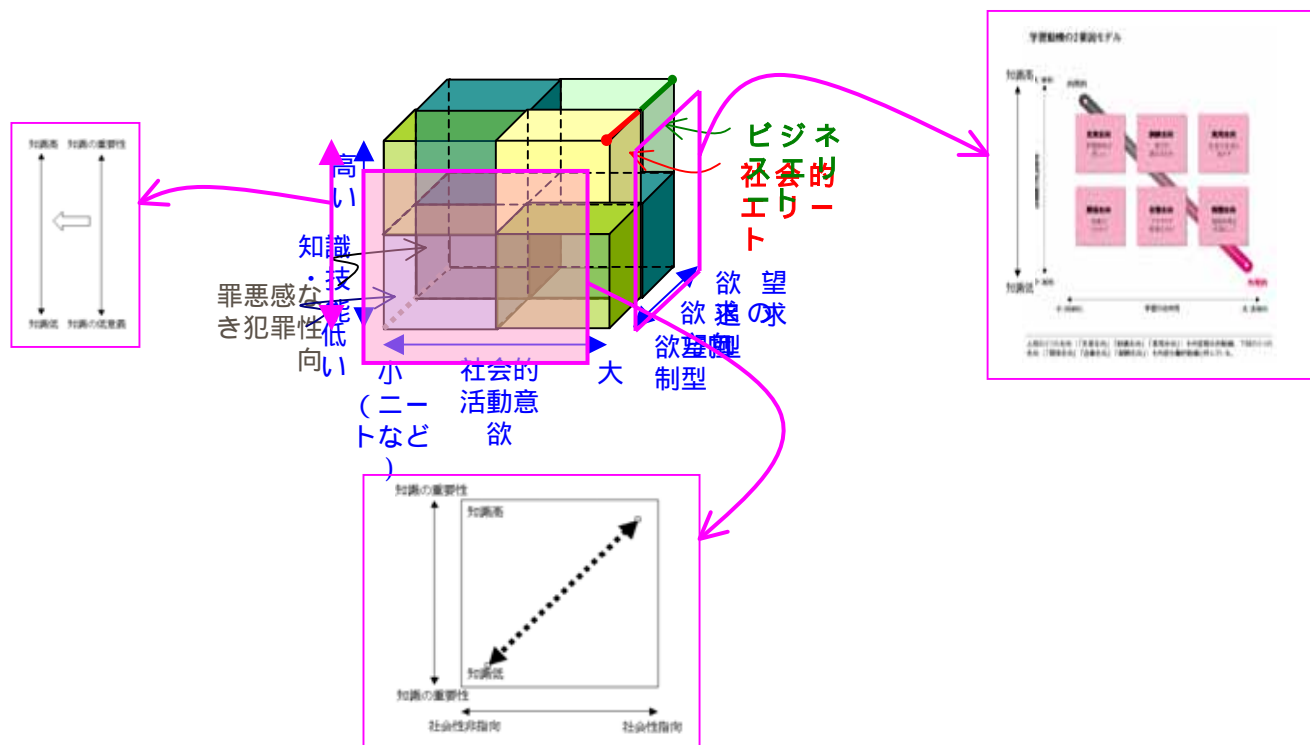
3) 学習動機の2要因モデル



上段の3つの志向（「充実志向」「訓練志向」「実用志向」）を内容関与的動機、下段の3つの志向（「関係志向」「自尊志向」「報酬志向」）を内容分離的動機と呼んでいる。

4.(2) 先行モデルとの関係

- 3つの先行モデルは、飯箸のエイトキュービックモデルの各側面・部分を見ていると考えられる。



5. アンケートの実施

- 時期 4月の授業説明会または初回講義
- 対象 飯箸が担当する各大学×各教科の学生

学年	大学	学部	教科	学生数 (有効回答数)
1	A大学	文科混成	情報基礎	18 (18)
1	C大学	経営工学	電算機概論	107 (106)
1	E大学	商	情報処理	34 (18)
2	A大学	情報コミ	問題発見ゼミ	6 (5)
3	A大学	情報コミ	情報システム論	18 (16)
3	A大学	情報コミ	情報デザイン論	16 (14)

5.(1) アンケート設問

2006年度
学習開始アンケート

学籍番号：() 氏名：()

☆該当の数字に丸をつけるか、空白に書き込みなさい。

1. 高校で「情報」の授業を履修しましたが (択一)

①はい ②いいえ ③その他(具体的に:)

2. 自宅にパソコンは持っていますか (択一)

①自分用のパソコンを持っている ②家族がパソコンを持っている
③その他(具体的に:)

3. パソコンでワープロはできますか (択一)

①たいいの文章はワープロで書ける ②ワープロを使ったことがある
③ワープロを使ったことがない
④その他(具体的に:)

4. パソコンでメールの送受信はできますか (択一)

①パソコンでのメールの送受信には自信がある
②パソコンでのメールの送受信をしたことがある
③パソコンでのメールの送受信はしたことがない
④その他(具体的に:)

5. パソコンで表計算 (エクセル) はできますか (択一)

①パソコンの表計算 (エクセル) には自信がある
②パソコンの表計算 (エクセル) を使ったことがある
③パソコンの表計算 (エクセル) は使ったことがない
④その他(具体的に:)

6. 人生についての考え方

6-1. お金や財産について (択一)

①お金や財産は、他人よりも多く持つことが人生の目標だと思う
②お金や財産は、人生の目的とは思わないが、人並みに持ちたい

③お金や財産に特別な興味はない
④お金や財産に目がくらむような人にはなりたくない
⑤その他(具体的に:)

6-2人や社会との交わりについて (択一)

①人や集団と交わり生きてゆくことが楽しい
②他人や仲間が喜んでくれたり、他人や社会に役立つ人になりたい
③他人や社会に交わるのはできるだけ少なくなて暮らしたい
④他人や社会に頼りたらずに生きていたい
⑤その他(具体的に:)

7. 教室運営について

7-1教室で教え合うことについて (3つまで選択可)

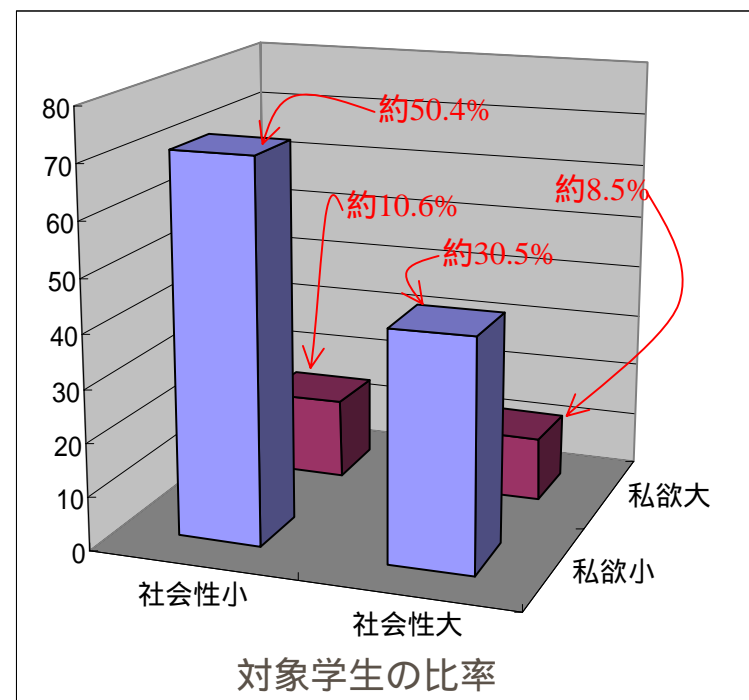
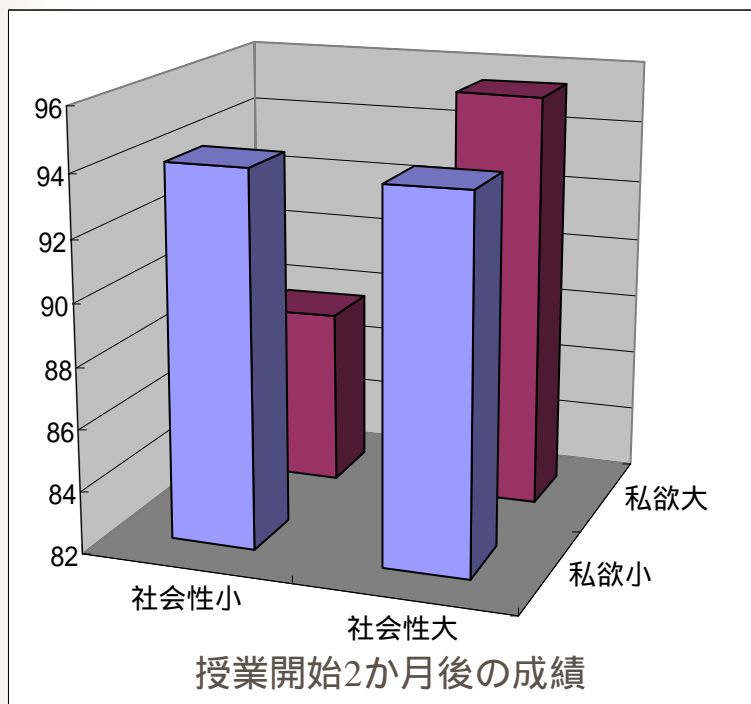
①分からないことをクラスメイトに教えてもらうのは恥じだし、ずるいと思う。
②自分が分かることを分かっていないクラスメイトに教えるのは自分の損だと思う。
③自分の成績の事だけを考えるべきで、他人に関わるのはおかしいと思う。
④分かったことを教えれば、自分が困っているときに教えてもらえる可能性があるの
で、困っている人にはどんどん教える。
⑤自分が困っているときには、恥でも教えてもらう。
⑥他人に教えると、自分の理解が進むので、機会があれば教えたい。
⑦その他(具体的に:)

7-2知識の獲得について (3つまで選択可)

①資格などに結びつく専門的なことを覚えたり、技術を身に蓄けることが、大学の業
業だと思う。
②思考の方法や社会の仕組みなど、資格などに結びつかない話は無駄だと思うので、
教師はしないで欲しい。
③他人よりお金や財産が得られるような知識や技術を学びたい。
④思考の方法や社会の仕組みなど、どんな場面でも生きてゆく上で手がかりになるよ
うな深い知恵こそ、大学で身につけたいと思う。
⑤思考の方法や社会の仕組みなどの基礎的で深い知恵と、専門的な知識や技術をバラ
ンスよく、学びたいと思う。
⑥よりよい社会の実現のために、自分も貢献できるような深い知恵を学びたい。
⑦その他(具体的に:)

5.(2) アンケート結果—ハイライト

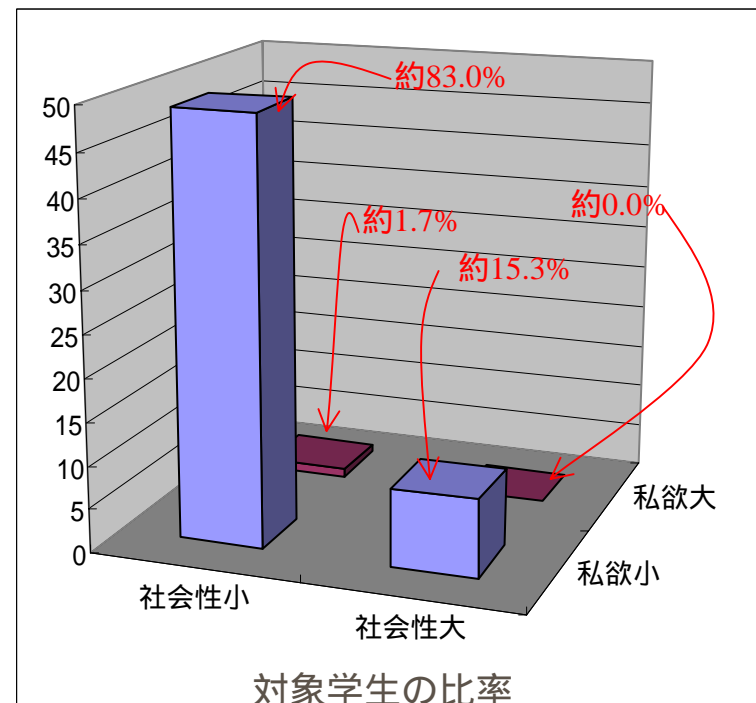
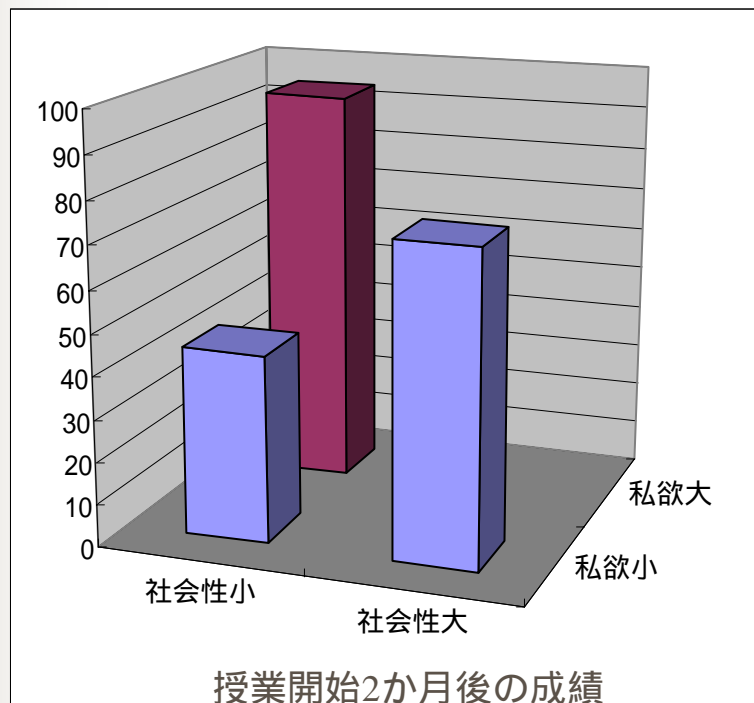
- 1年生に顕著な傾向
- グラフ右 私欲小×社会性小が多数(50.4%)、私欲大×社会性小は10.6%。社会の病理を示している。
- グラフ左 私欲大×社会性小の成績は伸びが悪い。他は伸びている。
- 私欲大=設問6-1に と回答した者、社会性小=設問6-1に と回答した者



5.(3) アンケート結果—2-3年生は

精神科の医師には精神病患者が多い。
情コミ学部入学者は情コミ不得意者が多
い道理。

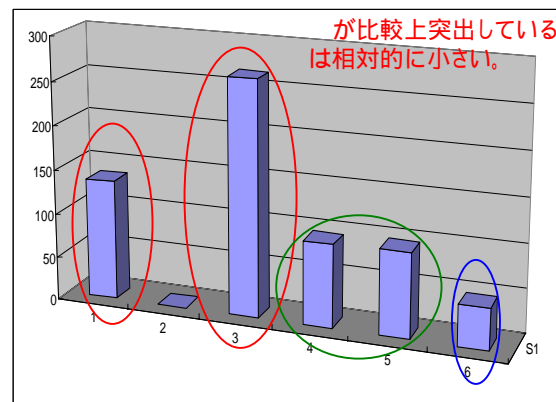
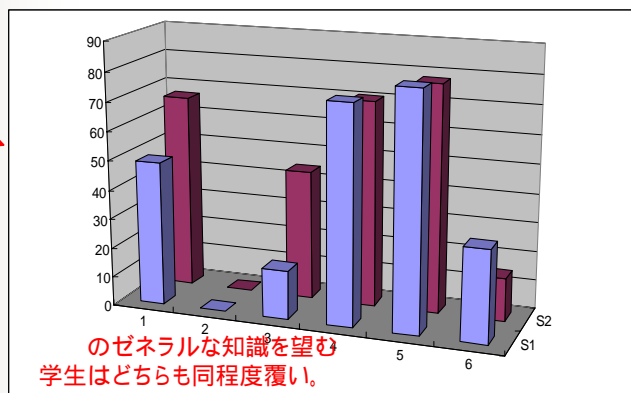
- この結果はA大情コミ学部の特殊性かもしれない。高学年の特性を表していないかもしれない。
- 2-3年生は「引きこもり性向」(私欲小×社会性小)の学生が圧倒的多数。
- “社会とは何か”の講義が感動も効果も生んでいない。1年生以外は、もはや手遅れか。
- 私欲大×社会性小の学生の成績伸び率が大きい。専門性の高い教育のせいと思われる。
- 私欲大=設問6-1に と回答した者、社会性小=設問6-1に と回答した者



5.(4)「私欲=大」の学生は何を望んでいるのか

- 私欲大の学生は授業に何を望んでいるのか——(他人よりお金や財産が得られるような)「資格」や「専門教育」!!

6-1	7-2						
	1	2	3	4	5	6	
1	27	66.7	0	44.4	70.4	77.8	14.8
2,3,4	114	49.1	0	16.7	74.6	80.7	31.6
1/(2+3+4)	141	135.8	--	265.9	94.4	96.4	46.8



資格などに結びつく専門的なことを覚えたり、技術を身に着けることが、大学の授業だと思う。

思考の方法や社会の仕組みなど、資格などに結びつかない話は無駄だと思うので、教師はしないで欲しい。

他人よりお金や財産が得られるような知識や技術を学びたい。

思考の方法や社会の仕組みなど、どんな場面でも生きてゆく上で手がかりとなるような深い知恵こそ、大学で身につけたいと思う。

思考の方法や社会の仕組みなどの基礎的で深い知恵と、専門的な知識や技術をバランスよく、学びたいと思う。

よりよい社会の実現のために、自分も貢献できるような深い知恵を学びたい。

6. 結論

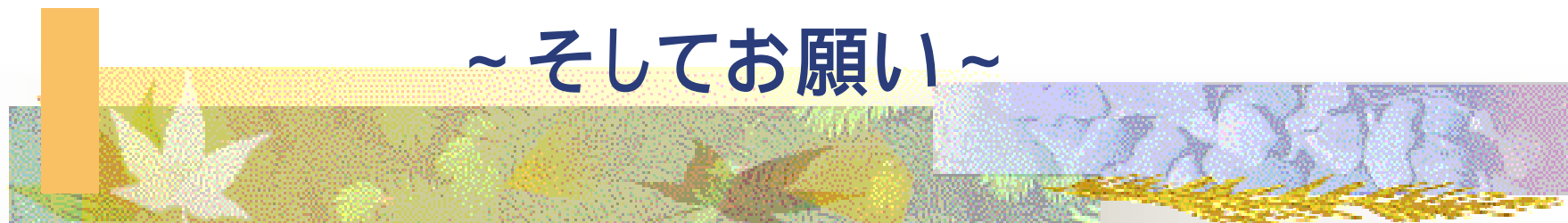
- エイトキュービックモデルの有用性は明確になった。
→社会的有能性(社会性高、私欲抑制型、知能高)の獲得には迂回路もある。市川モデルでは説明が困難だった迂回路が明示できた。

- 1年生にも専門性の高い講義を
→専門性から社会貢献への誘導
- 2-3年生にも「社会性を育てる」教育を
→社会性→高学力→専門性へ

- 1年生対象:専門性の高い講義
=「情報基礎論」の学習範囲を下はそのまま、上ブタを高く設定する。
- 2-3年生対象:「社会性を育てる」教育
=手や体を動かす共同作業参画の機会を増やす。

終わり

～そしてお願い～



この研究には、一人でできる限度があります。
ご助言とご協力いただける皆様のご参加を心
からご期待しております。